



寺 1
清 0
小川 10
58-2663

回本の特集 (十七日、二十三日) 先祖としてお彼岸

「お彼岸」という言葉には、温かい響きがあります。春・秋の年二回、この季節になると、ほとんどの人がお墓参りをします。そのため、お彼岸とは「お墓参りをする」と思いこんでいる人が多いようです。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があります。春の彼岸の頃は寒さもゆるみ、若葉が芽吹き新緑と花の季節は目前です。秋の彼岸の頃になると、夏の暑さも峠を越し、紅葉と実りの秋の訪れが待っています。お彼岸という言葉の持つあたたかさは、そのような季節感からくるものだと思います。実際、この時期はお墓参りには最も適している気候といえます。

現在、日本で定められているほとんどの祝日は仏教とは関係のない日です。その中で、春と秋の

今回は仏教ゆかりの食物の五回目として、「たくあん漬け」について紹介致します。干した大根を糠と塩で漬けた、独特な色と味のシンプルな食品です。しかし、その味はなかなかのもので、これも日本の味の一つに数えられるでしょう。「たくあん漬け」を考案したのは、江戸時代の僧、沢庵和尚という説があります。又、沢庵和尚は剣豪宮本武蔵の師とされています。

「たくあん漬け」とな訳です。他に名前由来として、「たくわえ漬け」の訛りという説があります。又、大根の糠漬けを京都で「辛漬け」と呼び、九州では「百本漬け」と呼んでおり、「沢庵漬け」と呼んだのは関東だけです。添加物を使用せず漬けた「たくあん漬け」は発酵食品であるため酵素の力によつて、腸の働きを整える効果があります。今回は「納豆」。

住所 東京都あきる野市小川一〇一
電話 〇四二五一五八一二六六三
管理 〇四二五一五八一六三八七
住職 石井 前
寺務所 伊藤 勝之

「彼岸の中目」、すなわち「春分の日」と「秋分の日」のみが仏教的風習から残されたものです。仏教行事には様々なものがありますが、特筆すべきは、お彼岸という仏教行事が、日本独自のものといふことです。彼岸の法要は「彼岸の初めにいとよき日なりけり」と源氏物語にあることから、すでに平安時代から行われていたことはたしかなようです。民衆の間に広まったのは、祖霊信仰と結びついた江戸時代とされています。その彼岸の本来の意味は、昔のインドの言葉「パーラミター」(波羅蜜多)の漢訳で「到彼岸」を略したものです。「到彼岸」とは、彼岸に到る、という意味です。「彼岸(こちら側)は悩みと迷いの現世とすれば、「彼

管理料納入について

管理料の納入について、お塔婆の申込用紙と同じように、振込み用紙を作つて欲しいとの声が寄せられていました。平成八年度の管理料納入から使用できるように同封しました。

休憩所建設予定地の開発審査会通過について、前回の「たちばな」でお知らせ致しましたが、市街化調整区域内の建設には、境内地の雨水処理が義務づけられ美観を損ない、費用も相当掛かるようなので、休憩所の建設場所を市街地内へ建てよう変更致しました。建設場所は本堂裏の庭園内、着工は建築確認が下り

今迄、お勤め頂いた高倉繁子・笠井裕美の両名は、それぞれご家庭の都合により、平成八年二月末日を以て退職致しました。三月一日からは、当山の将来の事業計画から判断し、男性一名・女性一名を採用致しました。師岡伸昭、竹沢共子子の両名です。今後は、伊藤・西脇・師岡・竹沢の四名で皆様のお世話をさせて頂きますので宜しくお願い致します。

岸」は悩みのない悟りの世界です。年二回の「お彼岸」は「彼岸」(悟りの世界)へ渡るための修養期間なので、また、彼岸の中日は昼と夜の時間の長さが同じです。一年に二回ある最もバランスのとれた日といえます。これはお釈迦さまが説かれた、どちらにもかたよらない「中道」の生き方と相い通ずるものがあります。

☆☆休憩所 建設場所変更☆☆

次第、完成は四月頃の予定で、建物内には冷暖房、電話、自動販売機等を設置する予定にしておりますが、お気づきの事がありましたら、ご遠慮なくお申し出下さい。

☆葬儀儀礼社 初人介☆
寶清寺管理事務所を開設して一年が過ぎました。お檀家の皆様初め、寶清寺にご縁のある方々に気持ちよく参詣頂けるよう、皆様の声を反映させながら運営しております。檀家の数も増え、最近では突然のご不幸のおり葬儀社の紹介依頼が多くあります。そのような状況に対応すべく誠実な葬儀社と契約致しました。仏事でお困りの折は管理事務所にご相談下さい。

寶清寺正面入り口付近造成工事について
造成工事は現在、山の下刈りとボーリング調査が完了し、三社からの見積提出を待っているところです。見積が提出され次第、施工業者を決定し着工します。

管理料 (納入者不明)
平成八年度の管理料を納入者の名前を書かず立川駅ビル支店より九千円振り込まれた方、又、平成七年三月七日に一万円振り込まれた方は管理事務所にお申し出下さい。

★墓参用お花線香★
(十七日、二十四日)
お花一束 七〇〇円
お線香 一〇〇〇円